

表. 関西国際空港の利用日および/またはウイルス遺伝子型が共通する麻疹報告例^{注1}

(感染症発生動向調査より。2016年9月1日現在)

2016年33週(診断週)に、H1の麻疹ウイルス遺伝子型が検出された症例5例は、遺伝子配列も一致、もしくは一致している可能性が高いという結果が得られました。そのうち4例は、自治体による積極的疫学調査により、以下のとおり、関西国際空港の利用日が共通していたことが明らかとなり、これらの事実から、少なくとも、これらの症例は、当該日に関西国際空港で麻疹ウイルスに感染した可能性が高いことが示唆されました。

症例	年齢・年齢群	性別	接種歴	発症日 (発熱または発疹)	報告 都道府県 ^{注2}	遺伝子型 ^{注3}	推定 感染地域	共通する 関西国際空港利用日
1	20～24歳	女	1回	8月8日	愛知県	H1	中国	- 注4
2	20～24歳	女	不明	8月9日	和歌山県	H1	国内	7月31日
3	15～19歳	男	無	8月9日	兵庫県	H1	インドネシア または国内	7月31日
4	25～29歳	男	不明	8月10日	福岡県	H1	国内	7月31日
5	30～34歳	男	無	8月11日	大阪府	H1	韓国または国内	7月31日

^{注1} 掲載内容は届出時点のものであり、疫学調査などの結果で今後、更新される場合があります。

^{注2} 報告都道府県は政令市、中核市等の保健所を設置している自治体を含みます。

^{注3} 遺伝子配列は症例1～4で一致していました(5も一致している可能性が高いが現在、再確認中です)。

^{注4} 関西国際空港を利用したとの情報はありません。

なお、この記載内容に関して、自治体、医療機関、その他関係機関等への直接の問い合わせはお控えください。